

Tokushima University Hospital

News Letter

徳島大学病院ニュースレター2014 WINTER 発行: 徳島大学病院

No.20

医学部総合研究棟の1階に、臨床医学の教育および研究を目的としたクリニカルアナトミーラボ(CAL)が完成しました。献体を未固定の状態で使用するラボとしては西日本で初めての試みです。MRIやCTも完備しており、最先端の手術手技や検査手技を習得するのに役立つものと信じます。日本外科学会と日本解剖学会から公表されたガイドラインに従い運用しますが、まず実施計画書を提出していただき、徳島大学病院クリニカルアナトミー教育・研究センター運営委員会および徳島大学病院臨床研究倫理審査委員会での審査を経る必要があります。CALを用いて新しい手術手技の開発や病態の解明にも役立てていただければ幸いです。

(2014年 冬) 徳島大学病院長 安井夏生



平成27年度 徳島大学病院

研修プログラム説明会

(初期研修・専門医研修)

6月7日(土) 徳島大学大塚講堂にて平成27年度 徳島大学病院研修プログラム説明会を行いました。第1部では、当院の2年次研修医である玉置先生・梅原先生・長瀬先生・乾先生が、自身の研修状況を様々な映像を用いて楽しく説明すると共に、来場した学生からの様々な質問にも親身に回答し、終始和気藹々とした雰囲気で行われました。また、第2部では、本院、県内・外の協力病院による合同説明会をブース形式で行いました。来場者数は、合計100名となり、徳島大学の学生だけでなく、他大学の学生も多数来場するなど、活気に満ちていました。

また、マッチングを間近に控えた6年生だけでなく、4年生や5年生も来場しており、初期研修に対する意識の高さが窺われました。さらには、後期研修を希望する他病院からの研修医もブースで熱心に各診療科の話に耳を傾けている姿もあり非常に有意義な説明会となりました。来場された皆様全員と本院で共に働けることを願いつつ、学生や研修医によりよい研修プログラムを提供できるようさらに努力して参ります。



研修プログラム説明会(大塚講堂)
右上 [第1部]研修医による体験談
プレゼンテーション
左上・下 [第2部] 合同説明会(ブース開設)
懇親会(蔵本会館)
右中・下 楽しい雰囲気の中での親睦会

レジナビフェア大阪&東京

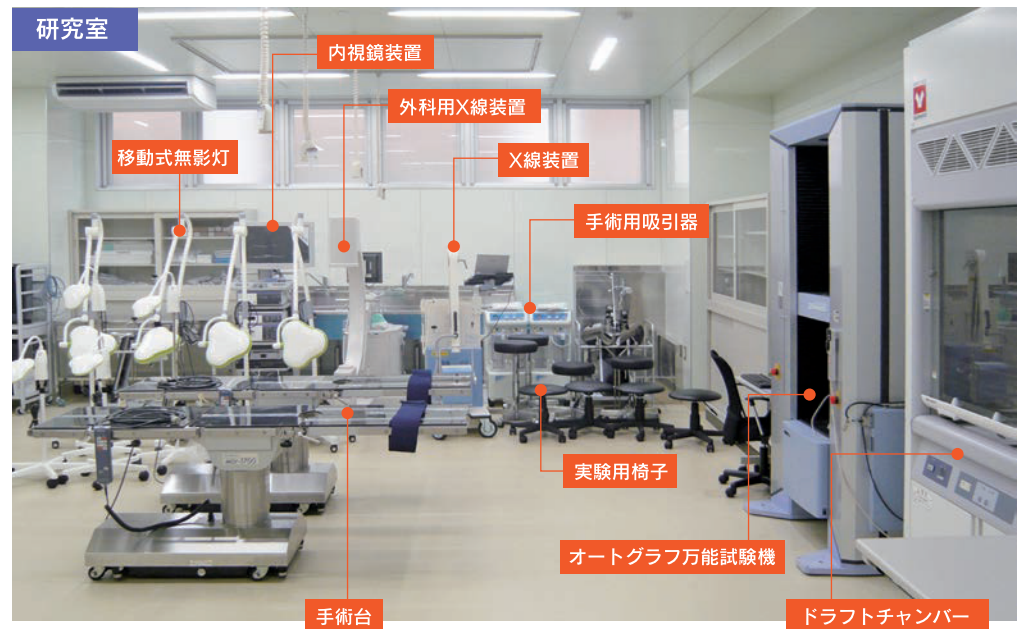
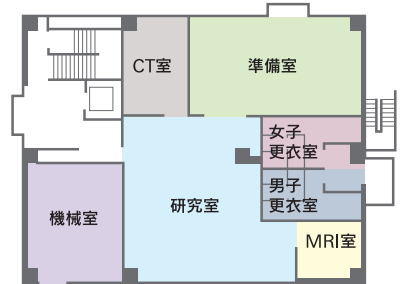
7月6日(日)に大阪、7月20日(日)に東京にてレジナビフェアが開催されました。我々も研修医の先生と共に徳島県ブースにて徳島大学での初期研修を希望する学生や専門医研修を希望する研修医の対応にあ

たりました。来場者の中には、出身地や出身大学が徳島県とは全く縁もゆかりもないにも関わらず、後に病院見学やマッチングを申し込んでくれる学生もあり、直接顔を合わせて話をする重要性を感じました。

クリニカル
アナトミーラボ

(Clinical Anatomy Laboratory:CAL)

[徳島大学医学部総合研究棟1階]



当直スキルアップセミナー

研修医への教育の一環として、昨年より始まった当直スキルアップセミナーは、研修医のニーズにマッチし、好評だったことから、本年は昨年の5回開催から年9回開催へと回数を増やし、より多くの診療科への参加をお願いしています。本年はこれまでに6回開催しておりますが、何れの回も研修医だけでなく、学生・院内他科医師・他院からの先生方を含め、毎回50～90名の参加者があり、熱気のある勉強会となっています。ご協力いただいている各診療科の先生方に御礼申し上げますと共に、来年以降もご協力の程宜しくお願い申し上げます。

学生・研修医のためのキャリアデザインセミナー
～若手医師による夏期セミナー～

キャリア形成支援センターとの共催で、厚仁会のご支援の下、9月8日(月)に本院・日垂メディカルホールにて、学生・研修医のためのキャリアデザインセミナーを開催しました。循環器内科の楠瀬先生、呼吸器・膠原病内科の荻野先生、泌尿器科の津田先生の3名の講師の先生に、それぞれのキャリア形成に關した講演をしていただきました。研修医・学生あわせて54名の来場があり、皆真剣な表情で講師の先生の話を聞いていました。また引き続き行われた懇親会では、多くの学生や研修医が講師の先生方を取り囲んで熱心に質問をしており、今後、医師としてキャリアを形成していくための貴重な会話ができたことと思います。

ご講演いただきました3名の先生方にお礼申し上げます。

キャリアデザインセミナーの講師一覧

循環器内科 楠瀬賢也先生

「It's a small world!-ただし専門分野による-」

呼吸器・膠原病内科 荻野広和先生

「研修病院の選び方・初期研修の過ごし方」

泌尿器科 津田恵先生

「女性医師の一例～仕事と家庭～」

研修医紹介

現在、徳島大学病院で研修中の研修医

1年次研修医

稲垣 太造 野田 和克
岩佐 あゆみ 板東 智子
岩坂 麻衣子 藤本 啓介
榎本 紀哉 松永 直樹
岡田 祐輝 松本 康平
亀田 香奈子 武藤 浩平
栗原 健士 山下 雄也
武井 美貴子 林 亜紀
富永 真由

2年次研修医

中山 知彦
良元 俊昭
猪子 未希

★12月に戻ってくる
2年次研修医
雲財 崇
玉置 俊輔
森本 佳奈

前回のニュースレター発行後に戻ってきた2年次研修医です。



森 輝実

(もり てるみ)

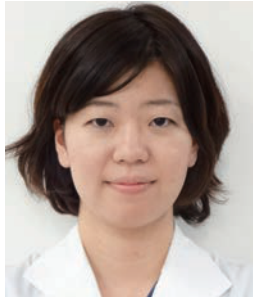
至らない点が多くご迷惑をおかけすると思いますが、残り少ない研修期間を日々努力し成長したいと思います。



長瀬 紗季

(ながせ さき)

一生懸命頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い致します。



生田 奈央

(いくた なお)

県外の病院から帰ってきました。徳島の明るさや地元の温かさを感じ、また秋から頑張りたいと思います。



中林 えみ

(なかばやし えみ)

残りの初期研修も有意義に過ごせるように頑張っていこうと思います。よろしくお願ひします。



乾 友浩

(いぬい ともひろ)

8ヶ月の院外研修から帰ってきました。これまでの経験を生かし、徳島の医療に貢献できるよう頑張ります。



新居 徹

(にい とおる)

多くの経験を積み日々精進したいと思います。ご指導よろしくお願ひ致します。



津保 友香

(つほ ともか)

残りの初期研修を楽しく頑張ります。



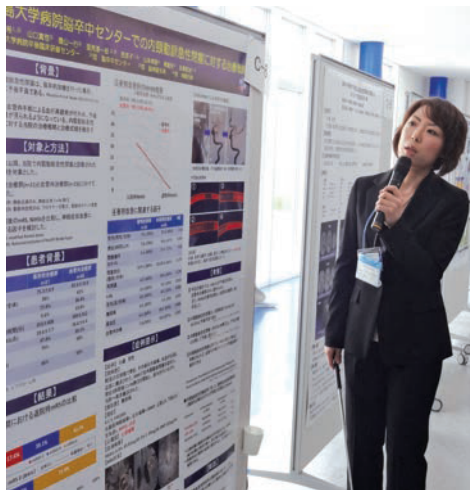
吉田 智之

(よしだ ともゆき)

2014年7月より徳島大学病院に戻ってきました。2年目は精神科でがんばります。

第249回 徳島医学会学術集会

7月27日(日)に徳島大学大塚講堂にて、第249回 徳島医学会学術集会が開催されました。各診療科の指導医の先生方の熱心なご指導のもと、2年次研修医2名、1年次研修医7名の合計9名の研修医が発表を行い、2年次研修医 猪子未希先生と1年次研修医 岡田祐輝先生の2名が若手奨励賞を受賞されました。特に岡田先生は、徳島県内の様々な病院の先生方を前に臆することなく、英語にてスピーチを行い、賞賛を受けました。ご指導いただきました各診療科の先生方には厚くお礼申し上げます。

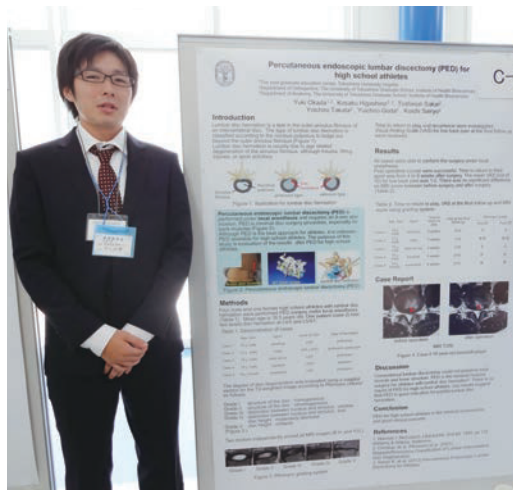


若手奨励賞

猪子 未希 先生

(2年次 研修診療科:脳卒中センター)

「徳島大学病院 脳卒中センターでの内頸動脈急性閉塞に対する治療戦略」



若手奨励賞

岡田 祐輝 先生

(1年次 研修診療科:整形外科)

「Percutaneous endoscopic lumbar discectomy (PED) for high school athletes」

徳島大学病院 研修医奮闘記

“徳島県の外科医療の将来を支えるために”

徳島大学病院Bon Voyageプログラム
(協力病院:浦添総合病院(沖縄県))
2年次研修医 乾 友浩

早いもので、もうすぐ2年間の初期研修も終わろうとしております。振り返れば2年前に徳島大学病院で初期研修を開始した当初、外科に行くという方向性は持っていたものの、なりたい医師のイメージは漠然としていました。しかし、日々研修を重ね、さまざまな指導医の先生方に教わっているうちに、少しずつどのような医師になりたいかを具体的に考えられるようになりました。実際には、尊敬する指導医の先生方の「これいいな」と思えるところを真似たりしただけですので、継ぎ接ぎだらけで不恰好に見えるかもしれませんが、少しは成長できたかと思います。

1年目の終わり頃から8ヶ月間、沖縄県の浦添総合病院で救急や外科を研修させていただきました。大学病院では、学生時代からの面識のある指導医の先生や研修医に囲まれ、ある程度慣れた環境で研修をしていたのですが、浦添

総合病院という知合いのいない全く新しい環境で、ひっきりなしに患者さんが運ばれてくる救急や、毎日のように手術がある外科を経験して、きつい反面、研修そのものの以上に人生勉強になり、今振り返っても非常に有意義な8ヶ月間でした。

徳島大学病院の研修プログラムは、自分で自由に研修を選ぶことができ、私も自分がやりたい外科を中心に好きなプログラムを組むことができました。もう少しこうすればよかったかな、というのはありますが、自分で選んだプログラムなので納得しています。

将来は徳島の医療に貢献できるような外科医になれるよう頑張りたいと思いますので、今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。



TOPICS

超音波研修 4つ目の(新)横断的研修

超音波検査は、その簡便性や診断的価値の高さから今後さらに重要性が増すことや、これまでの研修医からの熱い要望を受け、超音波センターのご協力のもと、脳卒中研修・感染研修・リハビリ研修に続く、4つ目の(新)横断的研修として超音波研修を立ち上げました。まだ立ち上げたばかりなので、研修期間1ヶ月内で定員1名としていますが、ここでエコーの知識や技術を学び、各診療科における研修だけでなく医師としてのキャリア形成にも役立ててもらえればと思います。

研修内容

心エコー検査、腹部エコー検査、血管エコー検査(頸動脈・腎動脈・下肢静脈)、甲状腺エコー検査の1領域を原則としますが、研修医の技量に応じて複数領域の研修も可能です。



医員募集

平成27年度の医員募集情報

徳島大学病院では、下記の要領で、平成27年度の医員(3年目以降の専門医研修者を含む)を募集します。

平成27年度の医員募集の概要

条件	医師免許取得後2年以上臨床研修を行った者または、平成27年3月までに卒後臨床研修を修了(予定)している者。
募集人数	170名(ただし、専門医研修希望者はすべて受け入れます)。
処遇	国立大学法人徳島大学有期雇用職員就業規則による。
募集のための書類	希望する当該診療科または 徳島大学総務部人事課蔵本人事係にお問い合わせください。
募集の締め切り	平成27年1月中旬
問い合わせ先	採用希望される場合は、随時、各診療科または 総務部人事課蔵本人事係までお問い合わせください。 人事課蔵本人事係 Tel.088-633-7018 Fax.088-633-7474

編集後記

卒後臨床研修センターでは、適宜ホームページをリニューアルしております。新しい研修プログラムの情報や研修医のブログなど様々な情報を配信しております。当院での研修に御興味のある方は、卒後臨床研修センターホームページにアクセスいただけますと幸いです。(T)

■ニュースレターに関する御意見・ご要望など、お気軽にお寄せください。
bsotsugo@tokushima-u.ac.jp

 **徳島大学病院**
Tokushima University Hospital

徳島大学病院卒後臨床研修センター
Tel: 088-633-9359 または 9976
Fax: 088-633-9358
E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp
URL: http://www.tokudai-sotsugo.jp

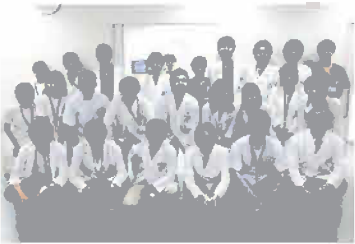
徳島大学病院 診療科案内

お問い合わせは
E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp

消化器内科

(科長 高山 哲治)

当科では、消化器疾患の診療を中心に、内科を幅広く診療できる医師の育成を目指しています。消化器診療においては、早期胃癌・食道癌・大腸癌に対する粘膜下剥離術(ESD)を多数行い、肝臓に対してはラジオ波焼灼術や高度なインターベンション治療を多数行っています。また、種々の進行消化器癌に対して最新の分子標的治療薬を含めた質の高い化学療法を行うとともに優れた全身管理を行っています。当科における研修システムでは指導医が充実しており、指導医と研修医が一体となって最善の医療を提供しております。



連絡先 宮本 弘志 miyamoto.hiroshi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7124 fax.088-633-9235
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=2

血液内科

(科長 安倍 正博)

血液内科では、造血障害、造血器腫瘍や免疫不全を中心とした疾患に対し、造血幹細胞移植術などの新しい診断技術や治療法を取り入れ幅広く診療を展開しております。このような治療の遂行においては、多職種医療従事者とのチームによる全人的かつ専門的診療が重要です。当科では一般内科を基盤としたきめ細かな患者の全身管理ができるバランスのとれた医師の育成を目指しています。



連絡先 安倍 正博 masabe@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7120 fax.088-633-7121
<http://square.umin.ac.jp/TUBioReg/index.html>

食道・乳腺甲状腺外科

(科長 丹黒 章)

確かな技術を備えた外科医を育てることをモットーとしています。「確かな技術」とは、手術のテクニックのみならず、正確な診断、適切な手術適応の決定や、術後の全身管理、初期治療から緩和治療まで、あらゆる治療に精通することを意味しています。全ては患者さんのためであり、それらの技術習得に必要な環境が私たちの教室には揃っています。「目の前の患者さんを自分の技術で治したい」。そんな熱く、優しいハートを持った若いドクターよ、集まれ！



連絡先 滝沢 宏光 takizawa@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7143 fax.088-633-7144
<http://www.tksbizan.com/>

消化器・移植外科

(科長 島田 光生)

「拡大切除・機能喪失から低侵襲・再生外科へ」をスローガンに肝胆脾外科領域では高難度手術、集学的治療、生体肝移植を行っており、年間の肝切除症例は100例、脾切除は30例を超え、肝胆脾外科高度技能修練施設Aに徳島で唯一認定(高度技能専門医を3名擁しており、日本でもトップクラス)されています。消化管外科では胃癌手術の5割、大腸癌手術の8割で鏡視下手術を行っており、内視鏡外科技術認定医5名が執刀を行っています。ロボット手術(ダ・ヴィンチ)もすでに7例施行しました。鏡視下アニモラボを含む研修プログラムも用意しています。



連絡先 池本 哲也 ikemoto.tetsuya@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7139 fax.088-631-9698
<http://www.tokugeka.com/>

循環器内科

(科長 佐田 政隆)

循環器内科は、虚血性心疾患や不整脈に対するカテーテル治療や画像検査、心臓リハビリなどの専門・高度医療にわたる幅広い領域をカバーしています。循環器救急24時間体制を構築しており、徳島県内の各種医療機関との病診連携も積極的に行っています。初期ならびに専門医研修については、四国はもとより東京、大阪、神戸、沖縄、静岡などの県外医療機関と連携して、各自の将来設計に柔軟に対応できるプログラムを提供しています。



連絡先 佐田 政隆 masataka.sata@tokushima-u.ac.jp
伊勢 孝之 isetaka@tokushima-u.ac.jp
(卒後研修主任) tel.088-633-7852 fax.088-633-7894
<http://square.umin.ac.jp/TOKUSHIM/>

腎臓内科

(科長 土井 俊夫)

腎臓内科では、県下一円から難治性の腎疾患患者を受け入れています。腎臓内科の診療活動は、ネフローゼ症候群・腎炎などの腎疾患の診断治療と慢性腎不全の透析導入、透析室管理の3つの柱からなっています。糖尿病、高血圧、膠原病など全身性疾患からの腎障害も多く、広く内科全般に渡る症例を経験するとともに、術前術後を含めた透析管理を研修していただきます。当科での取得可能専門医:総合内科専門医・腎臓専門医・透析専門医。



連絡先 土井 俊夫 doitosho@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7184 fax.088-633-9245
<http://www.tokudai-kidney.jp/>

神経内科

(科長 梶 龍児)

かつては「わからない・なおらない」と揶揄された時代もあったらしいのですが、時代はダイナミックに変わっております。頭の先から指の先までの神経の症状、神経難病、脳卒中(SCU)から日常遭遇する一般的な症状(頭痛・物忘れ・手足のしびれ感)に至るまでを「治る神経内科」を実践しております。専門医の高合格率にも定評があります。国内・海外への留学実績も豊富です。



連絡先 和泉 唯信 yizumi@clin.med.tokushima-u.ac.jp
野寺 裕之 hnodera@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7207 fax.088-633-7208
<http://www.neuro-tokushima.com>

呼吸器外科

(科長 先山 正二)

当科は、肺癌、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍など腫瘍性疾患を中心として、ロート胸、腫瘍、気胸など呼吸器外科疾患全般に関して診療を行っています。肺癌に対する胸腔鏡下手術、早期肺門部肺癌に対する光線力学方法や気道狭窄に対するステント、レーザー治療などを行っています。H24年7月よりda Vinciによるロボット手術を開始し、先端技術の導入にも積極的に取り組んでいます。外科におけるサブスペシャリティーとしての呼吸器外科専門医取得のための充実した修練プログラムを用意しています。外科・呼吸器外科に興味ある若人よ、来たれ！



連絡先 滝沢 宏光 takizawa@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7143 fax.088-633-7144
<http://www.tksbizan.com/>

小児外科・小児内視鏡外科

(科長 石橋 広樹)

①小児外科の広範な疾患に対する治療: 四国の小児外科の中心的施設として、胸部、腹部をはじめ小児悪性腫瘍および泌尿器科領域まで広範な疾患をカバーしています。
②小児外科領域での鏡視下手術: 小児単径ヘルニアに対するLPEC法その他、ヒルシュスプリング病、鎖肛、GERDなどなどに対しても積極的に鏡視下手術を施行しており、中国・四国地方では、唯一の日本内視鏡外科学会技術認定(小児外樹)を取得しています。



連絡先 石橋 広樹 hiroki@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9276 fax.088-631-9698
<http://www.tokugeka.com/>

呼吸器・膠原病内科

(科長 西岡 安彦)

肺癌、肺炎、気管支喘息、リウマチ疾患を中心に、指導医・専門医のもとチーム医療を推進しています。臨床腫瘍学、感染症学、アレルギー学、免疫学等の幅広い分野の臨床経験が積めるのも当科の特徴です。生物学的製剤によるリウマチ診療、間質性肺炎・睡眠時無呼吸症候群の診療でも県内で中心的な役割を果たしています。国内外への留学による研修等を通じ常に総合力アップを意識し、全国レベル国際レベルの医療人育成を目指しています。



連絡先 後東 久嗣 hgoto@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7127 fax.088-633-2134
<http://www.sannai.umin.jp/>

内分泌・代謝内科

(科長 栗飯原 賢一)

内分泌腺が産生するホルモンは多彩な臓器の機能調節に関わり、その調節異常による代謝異常症には糖尿病、脂質異常症、痛風、骨粗鬆症など頻度の高い生活習慣病が多く含まれます。したがって、内分泌・代謝疾患では、全身のホルモン標的臓器の統合的な診断・治療が必要です。当科では、内分泌・代謝疾患患者の診療を通じて、臨床医として必要とされる幅広い病態の理解と的確な診断能力、そして適切な治療方針の立案能力を身につけた医師を育成しています。



連絡先 栗飯原 賢一 aihara@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7120 fax.088-633-7121
<http://square.umin.ac.jp/TUBioReg/index.html>
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=4

心臓血管外科

(科長 北川 哲也)

心臓血管外科医は、「自分の知と腕」をもって、病む患者さんの生きようとする力を支えてあげることのできる、やりがいのある仕事です。暖かい心と勇気を持ち、夢と情熱のある方は、当科で専門医研修をしませんか。君たちの想いに応えます。現代の社会環境でこそチャンスです。
“Chance favors only the prepared mind !!”次代を担うのはあなたです。



連絡先 北市 隆 kitaichi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7581 fax.088-633-7408
<http://www.toku-cvs.umin.jp/>

泌尿器科

(科長 金山 博臣)

関連病院のほとんどが日本泌尿器科学会認定の基幹病院で、症例も多く充実した研修が受けられます。透析認定施設も多く、透析専門医の習得も可能です。早い段階から開腹手術や腹腔鏡手術の執刀を行い、泌尿器腹腔鏡技術認定医・腎移植認定医等の習得が可能です。また、大学や関連病院(現在4施設、1年以内にさらに2施設)で、前立腺癌にロボット支援手術を積極的に行っています。希望により大学院進学、国内・海外留学が可能です。泌尿器科に興味を持つ熱意ある先生の入局を待っています。



連絡先 金山 博臣 kanayama.hiroomi@tokushima-u.ac.jp
高橋 正幸 takahashi.masayuki@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7159 fax.088-633-7160
<https://tokushima-u-urology.jp/>

眼科

(科長 三田村 佳典)

人間は外界からの情報の80%を視覚から得ており、高齢化社会を迎え眼科学の重要性は増すばかりです。当教室では網膜硝子体、緑内障、角膜炎、斜視弱視、ぶどう膜炎、眼瞼眼窩といった広範囲の専門分野を研修することができます。また、独自の小切開硝子体手術器具を考案し質の高い網膜硝子体手術を行っており、日本で唯一AlphaCor(人工角膜)の手術も行っております。ぜひ、我々とともに活気あふれる教室を作ってください。



連絡先 江川 麻理子 egawa.m@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7163 fax.088-631-4848
<http://www.tokushima-ganka.jp>

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

(科長 武田 憲昭)

現代の耳鼻咽喉科・頭頸部外科は、頭頸部の感覚運動医学、機能再建外科、頭頸部腫瘍外科を担当する科です。徳島大学耳鼻咽喉科では、耳鼻咽喉科の全ての担当範囲において国際トップレベルの医療と研究を行い、明るく楽しく積極的に、個性を尊重して個性を伸ばし、世界一の耳鼻咽喉科をめざしています。徳大耳鼻科で頭頸部のスペシャリストをめざしませんか？



連絡先 北村 嘉章 ykitamura@clin.med.tokushima-u.ac.jp
(総務医長) tel.088-633-7169 fax.088-633-7170
http://www.toku-oto.umin.jp

形成外科・美容外科

当科での研修は 2つの行程があり、専門医を取得するための専門医研修(4～6年間)と、その後の専門分野の強化研修になります。1年目は、大学病院で形成外科の基礎知識と基本技術の習得のための研修を行い、2年目以降は主に関連病院で研修になります。四国各県の国公立病院で特色のある臨床研修を受けることが可能です。また、大学院での研究活動(形成外科教室内あるいは希望があれば基礎医学教室への出向も可能)、さらに専門医取得後になりますが、海外・国内留学のチャンスもあります。



連絡先 安倍 吉郎 y.abe@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7296 fax.088-633-7297
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=18

精神科神経科／心身症科

(科長 大森 哲郎)

今、精神科医が求められています。精神科の敷居が低くなり受診者が増え続ける現状に加え、教育や行政からのニーズも激増しております。精神科は非常に守備範囲の広い診療科です。自分のライフスタイルや興味に合わせて方向性を選択することができます。指導体制の充実には自信があります。精神科医になるなら徳大精神科での研修を！



連絡先 住谷 さつき satsuki@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7130 fax.088-633-7131
http://tokushima-psychiatry.jp/

放射線診断科

(科長 原田 雅史)

放射線診断科では画像診断(CT、MRI、核医学、超音波、消化管透視)、IVR(血管内治療、CTガイド下生検など)を行っています。現代の医療において画像診断は必要不可欠です。全国トップクラスの検査装置、画像診断システムに恵まれた環境のもと、最先端の医療に携わってみませんか。研究においても各々の分野で多くの臨床研究を行っています。また、家庭を持った女性医師でも働きやすい環境作りに努めており、そのような女性医師の入局も歓迎です。



連絡先 原田 雅史 masafumi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7173 fax. 088-633-7468
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=25

救急集中治療部

(部長 西村 匡司)

重症患者は様々な臓器に問題を抱えており、治療には呼吸や循環、感染症、栄養、腎・血液浄化などに関する幅広い知識・技術と、病態を総合的に評価する力が必要です。救急集中治療部では、呼吸不全、循環不全、重症感染症や小児開心術後など、様々な患者の命を救うためにそれらの知識や技術、判断力を身につけることができます。全身管理・重症患者管理に興味がある人は一緒に働きましょう。他科志望の人の研修も歓迎します。



連絡先 小野寺 睦雄 mutsuo.onodera@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9347 fax.088-633-9339
http://sv01.inter-bus.jp/~toku_icu/

整形外科

(科長 西良 浩一)

整形外科は骨・筋肉・関節・神経・靱帯など運動器を幅広く扱う診療科です。

ひとたび運動器が障害されれば、人間らしい生命活動は満足に行うことができません。すなわち、運動器は人間が人間たる所以を発揮するのに、最も重要な器官ともいえます。整形外科は老若男女、全身(上肢・下肢・体幹)をカバーするため守備範囲が広く、一人前になるのに少々時間はかかりますが、誰でも努力すれば一流になりえるところが魅力です。徳島から世界にはばたく整形外科・骨大工になりませんか。



連絡先 西良 浩一 seikei2@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7240 fax.088-633-0178
http://www.utokushima-orthop.com/

脳神経外科

(科長 永廣 信治)

脳神経外科は、common diseaseである脳血管障害、頭部外傷、脊椎脊髄疾患に加え、脳腫瘍、機能的疾患、小児神経疾患など様々な疾患を対象とします。徳島大学病院では脳卒中センターを有しており、将来進む科にかかわらずすべての初期研修医が脳卒中のいろはを修得できるシステムを提供しています。後期研修では、脳神経外科疾患全般に対応できる能力を身に着けたうえで、自身の興味や特性に応じた専門技術獲得にむけバックアップいたします。



連絡先 溝渕 佳史 y.mizobuchi1203@gmail.com
tel.088-633-7149 fax.088-632-9464
http://www.tokushima-nougeka.com/

小児科

(科長 香美 祥二)

「子どもの健康を守ることでできる小児科専門医を育成すること、更に小児科サブスペシャルティエ(専門分野)を含めた診療能力の養成とキャリア形成」が小児科医局員の目標です。小児救急医療(プライマリケア)、新生児医療から専門性の高い最新の医療まで幅広い知識と診療能力を習得できるよう、新しいことに挑戦し、日々診療に研究に努力しています。我々の未来である子ども達のために、小児医療に興味がある医師の方と共に頑張っていきたいと思っています。小児科への入局を心からお待ちしております。

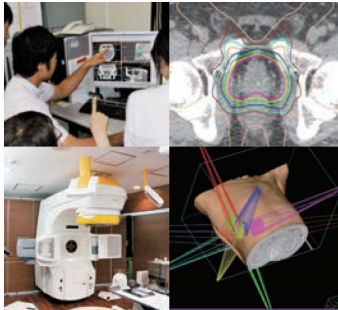


連絡先 近藤 秀治 shuchann@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7135 fax.088-631-8697
http://www.tokudai-pediatrics.net/

放射線治療科

(科長 生島 仁史)

徳島大学病院放射線治療科は、3台の高精度外部放射線治療装置(リニアック)と10台の三次元放射線治療計画装置、そして前立腺癌と子宮癌に対する密封小線源治療システムを有し、1年間に800人以上の新規患者を受け入れている国内でも有数の放射線治療施設です。粒子線治療を除くすべての放射線治療の研修が可能であり、多くの診療科と連携し集学的がん治療を実践する中で、最新放射線治療技術を習得したがんプロフェッショナルを育成しています。



連絡先 川中 崇 kawanaka@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7173 fax.088-633-7468
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=26

病理部

(部長 坂東 良美)

病理部は、病理組織診断・細胞診断を行うことにより、院内で実施される医療行為にevidenceを与える仕事を担っています。全国的に病理専門医数は絶対的に不足しています(徳島県では15名)。医療界全体が病理医の育成、獲得に必死になる時代が到来しています。研修にあたっては、各人の事情(婚姻、子供の有無、勤務時間等)を考慮し、弾力的に対応します。若き人材の参入を心からお待ちしております。



連絡先 坂東 良美 yoshimi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7454 fax.088-633-9565
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory_center.html?rank_code=dept&belong_code=12

皮膚科

(科長 久保 宣明)

皮膚科は現在、10人で毎日平均70人の外来患者、14人の入院患者を診ながら、教育、研究を行っています。過去10年間の新入医員は年平均2人で、後期研修の目標は、①実学としての皮膚科学の習熟、②皮膚科専門医取得、③研究です。全て卒業後が勝負で、体力、気力、好奇心をもち、皮疹を通してさまざまな病態を柔軟に考え加療して下さい。また研究にも興味を示してほしいと思います。いずれにせよ、皮膚科を選んだことを後悔することはありません。



連絡先 久保 宣明 kubo@tokushima-u.ac.jp
広瀬 憲志(総務医長) hirose.kenji@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7154 fax.088-632-0434
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=17

麻酔科

(科長 田中 克哉)

初期研修プログラムではどの科に進んでも必要な呼吸循環管理ができることを目標としています。麻酔科では、適切な麻酔をかけるだけでなく、手術や麻酔薬の影響で刻々と変化する全身の病態を早期に評価し、制御しています。気道確保など生命に直結する手技の習得と全身管理の面白さを体験できます。後期研修プログラムでは関連病院も含めてローテーションすることであらゆる症例や状態に対応できる麻酔科医を養成しています。



連絡先 田中 克哉 katsuya.tanaka@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7181 fax.088-633-7182
http://www.med.tokushima-u.ac.jp/article/0015541.html

産科婦人科

(科長 苅原 稔)

現在医局員は、苅原稔教授をはじめとして23名。診療面では生殖、腫瘍、周産期、女性医学の4診療部門があり、どの部門も全国でトップレベルの成績です。分娩数は年間701件、手術件数は589件(平成25年度)。研究面では5つの研究班に分かれて、基礎的および臨床的研究を行っています。教育面ではカリキュラムを組み、学生、初期研修医の指導を行っています。産科婦人科に興味のある人は是非連絡下さい。



連絡先 苅原 稔 irahara@tokushima-u.ac.jp
西村 正人 nishimura.masato@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7177 fax.088-631-2630
http://www.tokudai-sanfujinka.jp/Total/index.html



情熱、実践。

研修するなら徳島大学病院へ！

http://www.tokudai-sotsugo.jp